

内閣府本府政策評価有識者懇談会（第23回）議事要旨

日時：平成27年8月6日（木）14：00～15：15

場所：中央合同庁舎第8号館427会議室

出席者（委員）

座長 山谷清志 同志社大学政策学部・大学院総合政策科学研究科教授

田辺国昭 東京大学大学院法学政治学研究科教授

南島和久 神戸学院大学法学部准教授

議題1. 平成26年度内閣府本府政策評価（事後評価）（案）について

事務局から資料1、資料2、資料3について説明。主な意見は以下のとおり。

○測定指標のFacebookの「いいね！」というのは、必ずしも「いいね」という意味ではないのではないか。

○測定指標で研修後にテストを行った結果を設定しているのが良い。

○内閣府から他の官庁に移管するものに関しては、何らかの総括が必要ではないか。

○施策の中には目標設定が極端であったり、厳しすぎたりと妥当でないものがあるのではないか。

○評価書に別添資料があるものについては、内容が詳しくわかるので非常に良い。

○実績評価方式と総合評価方式がどういう仕分けとルールになっているか説明するべきではないか。

○総合評価方式の評価の仕方を整理しておくべきではないか。

○評価において数字で表現できないものは、表現できない理由を明示すべき。

○「14. 栄典事務の適切な遂行」とか「19. 迎賓施設の適切な運営」などは、政策評価をするべきものなのか。何かもうひと工夫できないか。

議題2. 今後の予定等

事務局から資料4について説明。次回の懇談会は、平成28年度内閣府本府政策評価実施計画（案）を主な議題として、平成28年3月から4月頃に開催する予定。